



岡山大学文学部&文学部プロジェクト研究「貧困とマイノリティ/マージナリティ」共催

首相 官邸の前で

映画上映会 &講演会

- 反原発デモと人文学 -

2015年夏、国会前は人であふれ返った。安保法案に反対する人々が集ったからである。しかし、実は日本における社会運動の転機は「密かに」2012年夏に起った。本作は、原発政策に抗議するデモの様子を記録したドキュメンタリーである。デモには性別も世代も立場も異なる人々が20万人集まつたにも関わらず、ほとんどマスコミに取り上げられることはなかった。その映像記録と8人の体験談を織り交ぜた本作は、戦後日本の代表システムと報道メディアの機能不全、市民社会の成長と停滞、高度成長を果たした日本経済が抱える矛盾と貧困問題——そしてそうした問題を観察・考察し続ける人文学研究のあり方について考える機会を与えてくれる。

本イベントでは、映画観賞後に監督の小熊英二さんにスカイプを通して講演をしていただき、さらに参加者による意見交換を行う予定です。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



小熊英二 おぐま・えいじ Skype出演

1962年東京生まれ。出版社勤務を経て、慶應義塾大学総合政策学部教授。福島原発事故後、積極的に脱原発運動にかかわり、メディア上での発言も多い。2012年の著作『社会を変えるには』で新書大賞を受賞。他の著作に『单一民族神話の起源』(サントリー学芸賞受賞)、『<民主>と<愛国>』(大仏次郎論壇賞、毎日出版文化賞)、『1968』(角川財団学芸賞)など。映像作品の監督は今回が初めてだが、脱原発運動のなかで得ていた信用のために、多くの映像提供などの協力を得ることができた。

【問い合わせ先】大貫俊夫(岡山大学文学部)
TEL:086-251-7412 E-MAIL:ohnuki@okayama-u.ac.jp
高谷幸 (同) TEL:086-251-8538 E-MAIL:takayasachi@okayama-u.ac.jp

入場無料
申し込み不要

2015年
12月17日木
18:00~21:00

岡山大学津島キャンパス
文法経講義棟20番講義室

Access



バス▶岡山駅西口バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車。「岡大西門」下車。(約7分)

徒歩▶津山線「法界院」駅より徒歩約10分。

岡山大学津島キャンパス
文法経講義棟20番講義室
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1